

株主通信

第115期
2015.4.1 ~
2015.9.30

- P1 プロフィール
- P2 社長メッセージ
- P3 事業別業績概況
- P4 海外拠点紹介
- P4 TOPICS
- P5 主要連結財務指標
- P6 会社情報
- P7 株式情報

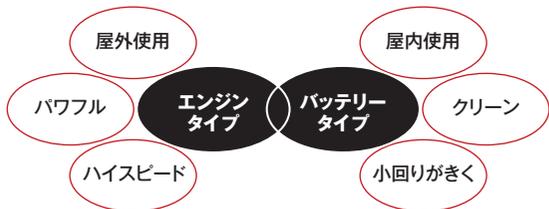
ニチュ三菱フォークリフト株式会社



お客様の物流現場の課題に「総合力」で対応します。

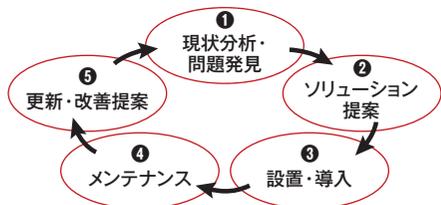
1 商品力

それぞれのお客様にとって
「最適な1台」を提供できる、
豊富なラインアップ



2 ソリューション力

お客様現場の目線で、
多岐にわたる物流現場の課題を
トータルに解決



3 ネットワーク力

グローバル&地域密着の
開発・生産・販売・サポート体制



使いやすいさと安全性を追求

1939年に当社が日本で初めて開発したバッテリーフォークリフトの分野では、作業性・操作性・安全性に優れた多様な製品をラインアップ。お客様の様々な利用環境に適應する製品を開発しています。

フォークリフト

過酷な作業環境にもパワフルに対応

エンジンフォークリフトでは、小型・中型・大型の幅広いラインアップを展開。ハイレベルなパワーとスピード、高い環境性能を備えた製品が、世界中の港湾、物流、工場などの荷役現場で活躍しています。

保管・搬送・管理を最適化する物流システムを提案

物流システム

収容効率の追求はもちろん、前後工程へのスムーズな供給や作業性を重視。お客様の物流形態・用途・予算に合わせたシステムを提案します。



中期経営計画「Best Integration 2017」の達成に向けて着実に前進できました。

事業統合3年目となる第115期上半期は、国内・海外の市場拡大を背景に、売上・営業利益とも拡大しました。

下半期も事業規模のさらなる拡大とグローバルでのシェアアップを目指した施策を推進し、中期経営計画「Best Integration 2017」の達成につなげてまいります。



代表取締役社長
二ノ宮 秀明

中期経営計画「Best Integration 2017」の概要

2018年3月期の目標

■ 高収益ビジネスモデルへの転換
業界リーダーを狙うポジション確立

■ 売上高 **2,800** 億円

■ 営業利益率 **8.0%**

上半期の市況と業績の総括

当上半期、国内市場ではエンジンフォークリフトを中心にフォークリフト需要が回復したことを受け、主力製品であるリーチ型バッテリーフォークリフト及びラックフォークのフルモデルチェンジ車を市場投入したほか、第四次排ガス規制対応エンジンフォークリフトの販売・サービスに注力しました。一方、海外市場では、中国など新興国の販売は伸び悩んだものの、経済が比較的好調な米国市場で販売が伸張したほか、再生に取り組んできた欧州子会社の収益改善が進みました。

これらの結果、上半期の連結売上高は、1,231億3千万円（前年同期比*12.7%増）となりました。利益面については、国内や米国での売上増に加え円安の影響もあり、営業利益

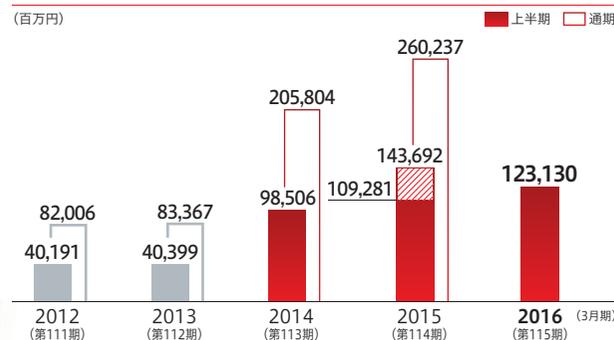
46億9千9百万円（同*15.9%増）、経常利益43億7千7百万円（同*7.5%増）と、いずれも増益を達成しました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億3千8百万円（同*10.1%増）となりました。

* 当社グループでは、前期に海外連結子会社の決算日を連結決算日と同じ3月末日に変更しました。これに伴い、海外グループ会社21社の前年上半期の対象期間は9カ月（1～9月）となりますが、上記の「前年同期比」は、この影響を除いて（前年1～3月の業績を除外した数字で）算出しています。

ユニキャリアホールディングス(株)の株式取得について

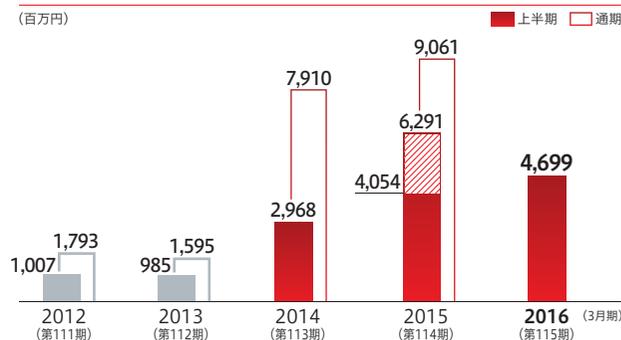
先頃発表したように、当社は三菱重工業(株)（以下 三菱重工）と共同で、ユニキャリアホールディングス(株)（以下 ユニキャリア）の全株式取得を決定しました。

売上高



■ 2012年3月期～2013年3月期は日本輸送機(株)のデータを掲載しています。

営業利益



■ 海外連結子会社の決算期変更に伴う増加分(1～3月)

事業別業績概況

グローバル競争が激化するフォークリフト業界では、収益確保のための事業規模の拡大が、ますます重要性を増しています。また、世界的な環境問題への対応に伴い、新技術を含めた研究開発においても規模拡大が不可欠な状況です。同社の株式取得は、現在推進中の中期経営計画「Best Integration 2017」で示した「グローバル・リーディング・カンパニーとしてのポジション確立」のための戦略の一環と位置づけています。

今後は三菱重工、ユニキャリア、当社の3社が一丸となり、それぞれの保有する先進技術を結集して世界各地の多様なニーズへの対応力を高めるとともに、物流機器の枠を超えた高付加価値製品とビジネスモデルを創出し、世界トップレベルの企業グループを目指してまいります。

下期の展望と業績見通し

当下半年も、国内経済は緩やかな回復基調が続くと予想されます。海外市場も、米国を中心に先進国の緩やかな成長が続くとともに、ASEANやインドなどアジア新興国の安定成長が見込まれます。

こうした状況のなか、中期経営計画「Best Integration

2017」の2年目として、引き続き世界各地の市況に応じた商品開発と販売戦略を推進するとともに、グローバルでのサプライチェーン最適化やICT基盤の強化など、メーカーとしての基盤強化に努め、中期経営計画最終年度である2018年3月期の目標達成につなげてまいります。

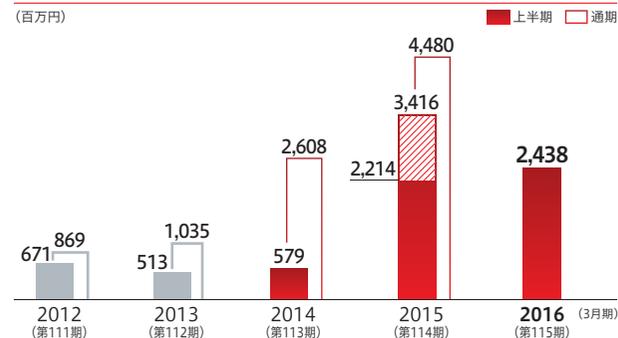
なお当期の通期業績については期初計画通り、売上高2,400億円、営業利益85億円、経常利益80億円、親会社株主に帰属する当期純利益45億円を見込んでいます。

株主の皆様へのメッセージ

株主の皆様への利益還元については、その期の収益状況に対応し、株主の皆様への配当の充実と企業基盤確立のための内部留保のバランスに配慮した安定配当を基本としています。当期の株主配当については、期末配当金1株当たり10円を予定しています。

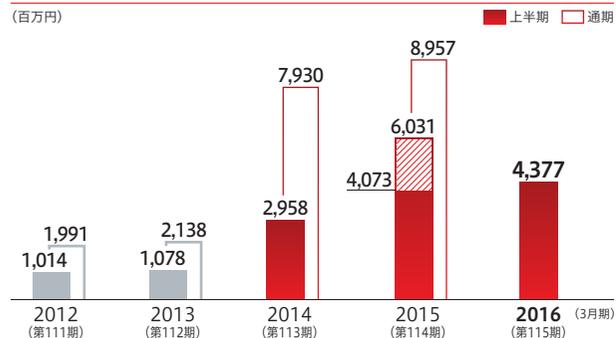
今後も当社グループは、フォークリフトを中心とした物流機器のリーディングカンパニーとして、株主の皆様をはじめ各ステークホルダーの期待に応えてまいります。皆様には引き続き中長期的視点での、温かいご理解、ご支援を賜るようお願い申し上げます。

四半期(当期)純利益※1



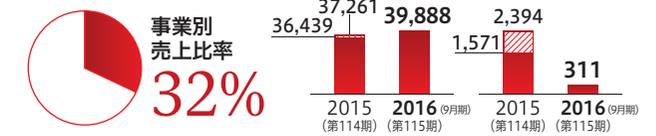
※1 2016年3月期より「当期純利益」は「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指します。
 ※2 海外連結子会社の決算期変更に伴う増加分(1~3月)

経常利益



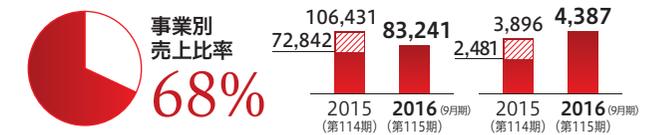
■ 2012年3月期～2013年3月期は日本輸送機(株)のデータを掲載しています。

国内事業



国内事業は、売上高は398億8千8百万円(前年同期比7.1%増)、セグメント利益は3億1千1百万円(前年同期比87.0%減)となりました。なお、前年同期の売上高・セグメント利益から決算期変更影響額を除くと※2、売上高は前年同期比34億4千9百万円増加(前年同期比9.5%増)しました。この売上高増加は、フォークリフト販売台数の増加、特にエンジンフォークリフトの増販が要因です。一方、セグメント利益は予定されていた海外生産移管に伴う大型エンジンフォークリフトの輸出売上減少による粗利減や試験研究費、ユニキャリアホールディングス社株式取得費用等一般管理費の増加などにより、前年同期比12億6千万円減少(前年同期比80.2%減)となりました。

海外事業



海外事業は、売上高は832億4千1百万円(前年同期比21.8%増)、セグメント利益は43億8千7百万円(前年同期比12.6%増)となりました。なお、前年同期の売上高・セグメント利益から決算期変更影響額を除くと※2、米国の好調な売上と円安換算などにより、売上高は前年同期比103億9千9百万円増加(前年同期比14.3%増)し、セグメント利益は円安効果、米国での売上増加及び再生を進めている欧州子会社の収益改善などにより、前年同期比19億6百万円増加(前年同期比76.8%増)となりました。

※2 P2の注釈をご覧ください。



CHINA

三菱重工叉车(大連)有限公司

Mitsubishi Heavy Industries Forklift (Dalian) Co., Ltd.



小型エンジンフォークリフトのグローバル製造拠点です。

小型エンジンフォークリフトの製造拠点である三菱重工叉车(大連)有限公司(MFD)では、2012年からの生産移管計画により日本の三菱重工相模原工場と欧州の生産拠点から生産移管を受けました。その後さらに新興国向けの新機種も立ち上げたことで、現在の生産能力は、倍増するまでに拡大しています。

同社の強みは、こうした急激な変化に対しても全社一丸で取り組む結束力と柔軟性、そして日本生産方式を取り入れたスピード感のある高品質なものづくり力にあります。今後もお客様満足のさらなる向上に向け、リードタイムの短縮に挑戦していきます。



生産現場の様子

お客様にお見せできる工場を目指しています。



MFD 全社員の集合写真

MFDでは経営方針として「安全第一で明るく品のある会社づくり」と「お客様にお見せできる工場づくり」を掲げています。工場の現場を見ていただくことは、徹底した品質管理や、ものづくりに対する姿勢を理解していただくためにも重要です。過去にはマレーシアから視察に訪れたお客様から高い評価をいただいたこともあります。今後も多くのお客様に好印象を持っていただける工場となるよう、全社員で改善活動に取り組んでいます。

Focus 地域別戦略

サービス・サポート力の強化

拡大が続く中国のアフターサービス市場に対応するため、車体引揚を伴う大規模な修理やオーバーホール作業を行う拠点として「ワークショップ」を展開しています。各地のワークショップでは、スタッフ教育とサービス・サポート体制の拡充に努めており、お客様の利便性向上とともに収益性の強化を図っています。



トピックス Topics

カウンターバランス型電気式フォークリフト「EDiA EX」が、欧州で最も権威のあるデザイン賞(red dot award 2015)を受賞しました。



快適性、操作性、機能性を深く追求したデザインが高く評価されました。

当社グループ会社の Rocla Oy がフィンランドで開発・生産を担当する新型 80 ボルト・カウンターバランス型電気式フォークリフト「EDiA EX」が、世界的に権威あるドイツのデザイン賞「2015 年度レッドドット・デザイン賞」を受賞。2015 年 6 月 29 日に表彰式がドイツ・エッセンにて開催され、関係者が出席しました。

Rocla Oy は、屋内物流機器で過去 3 度、同賞を受賞していますが、カウンターバランス型電気式フォークリフトでは今回、初めての受賞となりました。

EDiA EX について



快適性と安全性を兼ね備えた頑強な構造とともに、直感的な操作や幅広い視野など、人間工学の観点でも優れた機能性を実現したことが受賞の理由となりました。

オペレーターの操作に正確に反応する運転性能や、高い安全性と機動性を可能にする独自の駆動システムなどに同社の技術力が結集しています。

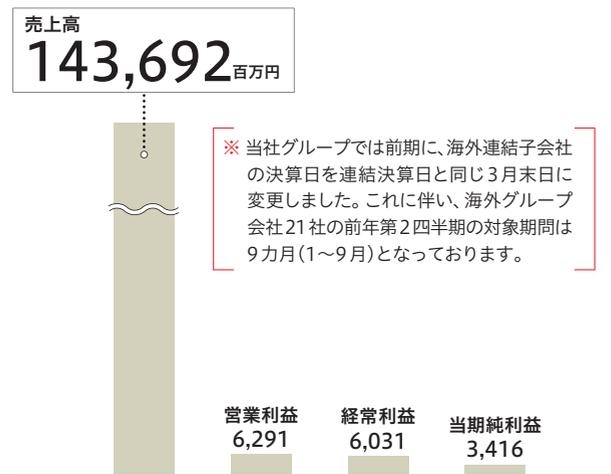
表彰式にて
記念撮影



主要連結財務指標

連結損益計算書 (百万円)

前 第2四半期(累計)※ (2014年4月1日～2014年9月30日)



当 第2四半期(累計) (2015年4月1日～2015年9月30日)

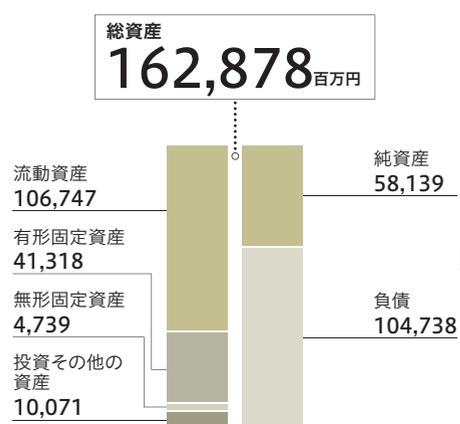


主要連結財務指標POINT

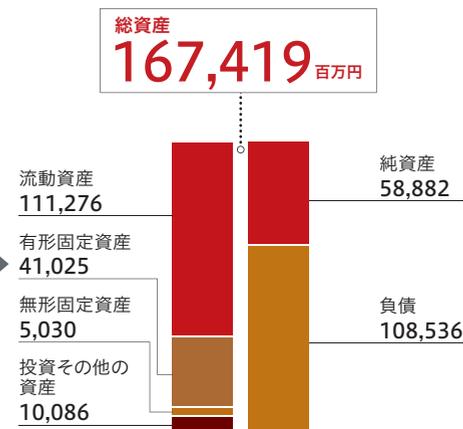
- ① 営業外費用については、為替差損401百万円を計上しました。
- ② 特別利益については、固定資産売却益として27百万円を計上しました。
- ③ 特別損失については、固定資産処分損として65百万円を計上しました。

連結貸借対照表 (百万円)

前期末 (2015年3月31日)

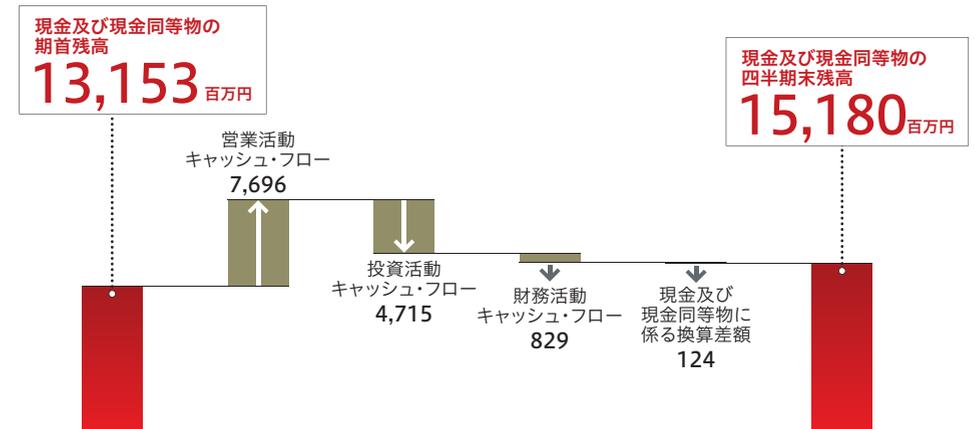


当 第2四半期末 (2015年9月30日)



連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)

当 第2四半期(累計) (2015年4月1日～2015年9月30日)



会社情報 (2015年9月30日現在)

会社概要

社名	ニチュ三菱フォークリフト株式会社 (Mitsubishi Nichiyu Forklift Co., Ltd.)
創立年月日	昭和12年8月4日
資本金	4,890,526,626円

事業所

本社・京都工場	〒617-8585 京都府長岡京市東神足2丁目1番1号 TEL 075-951-7171
滋賀工場	〒521-1334 滋賀県近江八幡市安土町西老蘇8-1 TEL 0748-46-5511
オンサイト 研修センター	〒345-0023 埼玉県北葛飾郡杉戸町大字本郷576 TEL 0480-37-2108

取締役及び監査役

代表取締役	二ノ宮秀明
取締役	種村 茂
取締役	佐野 隆
取締役	松本 仁志
取締役	各務 眞規
取締役	間野 裕一
取締役	御子神 隆 (三菱重工業 機械・設備システムドメイン副ドメイン長)
社外取締役	加藤 孝幸 (島津エス・ディー 代表取締役社長)
社外取締役	大河内 健
常勤監査役	真中 芳美
常勤監査役	前嶋 弘
社外監査役	小口 正範 (三菱重工業 代表取締役常務執行役員 CFO)
社外監査役	倉垣 雅英 (ジーエス・ユアサ コーポレーション 取締役)
社外監査役	福岡 靖之 (大日本塗料 常勤監査役)

社長及び役付執行役員

社長	二ノ宮秀明
副社長執行役員	種村 茂
常務執行役員	佐野 隆
常務執行役員	林 久夫
常務執行役員	松本 仁志
常務執行役員	各務 眞規
上席執行役員	中村 眞明
上席執行役員	新家 雅隆
上席執行役員	間野 裕一
上席執行役員	小西 憲雄

ネットワーク

● 生産拠点 ● 販売拠点



※1: 国内関連会社

※2: 2015年11月1日よりMitsubishi Nichiyu Forklift Asia Pacific Pte. Ltd.に社名を変更しております。

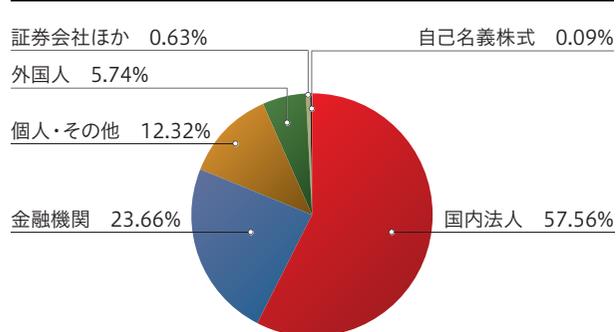
株式の状況

発行可能株式総数	普通株式	392,725,256株
	A種種類株式	32,274,744株
発行済株式総数	普通株式	74,191,269株
	A種種類株式	32,274,744株
株主数	普通株式	4,607名
	A種種類株式	1名

大株主(普通株式)

株主名	持株数(千株)	持株比率
三菱重工業株式会社	36,613	49.35%
株式会社GSユアサ	4,701	6.34%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	3,488	4.70%
明治安田生命保険相互会社	2,765	3.73%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	1,908	2.57%
東京海上日動火災保険株式会社	1,853	2.50%
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,363	1.84%
株式会社京都銀行	1,301	1.75%
株式会社滋賀銀行	941	1.27%
ニチュ三菱フォークリフト従業員持株会	784	1.06%

所有者別株式分布状況(普通株式)



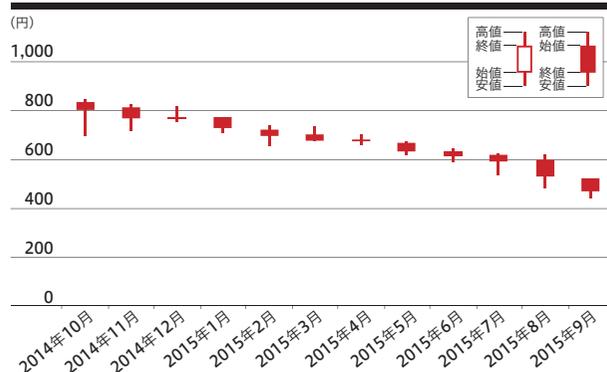
株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
特別口座の 口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-782-031(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.pronexus.co.jp/koukoku/7105/7105.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三井住友信託銀行にお問合せください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株価の推移



ホームページのご案内

<http://www.nmf.co.jp/>

トップページ



IRページ



最新トピックスをはじめ業績報告や会社情報などを詳しくご案内しております。

ニチュ三菱フォークリフト株式会社

〒617-8585 京都府長岡京市東神足2丁目1番1号
TEL 075-951-7171
FAX 075-955-3797

